

JR東海で働く若い社員の皆さん！ 死に急いではだめだ！

一人で悩んでいないで、私たちに相談して下さい！

不況による雇用情勢の悪化は失業率を増加させ、合わせて「自殺者数」を増やしています。働きたくても働く場所のない人たちの不安や悩みが、彼らを死に追い込んでいるのです。

ところで、JR東海の社内にあっても、働く場所がありながら、自殺したり、退職する若い社員が後を絶ちません。

理由は様々あると思います。

職場での人間関係、上司の暴言、強引な配転、希望に沿わない職種替えなど、ストレス・精神不安の要因も現実にあります。最近も若い社員が、自ら命を絶ったという話を聞きました。

若い仲間の皆さん！

私たちは、心から皆さんに訴えます。決して「死に急ぐな」と。そして、簡単に「退職するな」と。苦難な道はどこにもあります。負けずに強く生きていきましょう。悩み事、相談事をいつでも聞かせて下さい。

7月28日東京新聞

★自殺最悪ペース、上期17万人
今年一～六月の自殺者が計一万七千七十六人に上っていることが二十七日、警察庁が毎月公表している暫定値で分かった。統計を取り始めた一九七八年以降、最悪だった二〇〇三年の間三万四千四百二十七人に近づくペース。

警察庁によると一～六月の合計は前年同期比で4・7%増加。男性が一万二千二百二十二人、女性が四千八百五十四人。都道府県別では東京都が千五百六十九人で最も多く、大阪府の千五十七人、埼玉県の九百七十一人、神奈川県が九百二十八人が続く。

多かった。増加の背景には、昨年のリーマン・ショックから続く不況があるとみられる。ただ警察庁は、月ごとに発表している暫定値では年間まとめて明らかになっている年代や職業、原因を公表していない。

★三菱重が解決金24億
ごみ焼却施設工事をめぐり、高知市が三菱重工業に約三十億